

信州公衆衛生雑誌（抄録）投稿規程

原稿の募集

1. 信州公衆衛生学会に発表される方は抄録の提出をお願いします。発表者(著者)は連名者を含め全員本学会会員に限ります。
プログラム作成の都合上、学会で口演発表はなく誌上発表のみの場合もあります。
2. 原稿は和文のみとします。本文・図表・文献を含めて A4 用紙で 2 枚とし、マイクロソフト社のワードで作成し、e-mail もしくは磁気媒体(USB、CD-R)にて事務局へ提出してください。
3. カラーの図表は不可です。(印刷は白黒になります)
4. 原稿の採否は編集委員会で査読後決定し、必要により書き直しをお願いすることがあります。

執筆方法(別紙原稿例参照)

1. 表題、著者名、所属機関名、キーワード(5 語以内)、要旨(250 字程度)、本文、文献の順として下さい。原稿は横書き、新かなづかいとし、算用数字、CGS 単位系(m、cm、ml、dl、g、kg、秒、分、等)を使用して下さい。フォントは MS 明朝体を使用しサイズは表題のみ 12 ポイント太字、他は全て 10.5 ポイント標準として下さい。
また本文以下は 2 段組みとして下さい。
2. 本文は目的、方法、結果、考察、(謝辞)とし簡潔で平易な文章として下さい。
3. 図表の数は枚数内に収まれば制限を設けませんが出来るだけ簡潔なものとして下さい。
4. 文献は 5 個以内とし、引用した箇所の右肩に番号を付し引用順に記載して下さい。雑誌名は医学中央雑誌および Index Medicus に従った略記とし、
雑誌は、著者名：表題、誌名 巻：始項-終項、発行年。
著書は、著者名：表題、書名(編集者)、始項-終項、発行所、発行年。
の順に記載して下さい。但し著者は最初の 3 名以内のみとし、それ以上のときは「他」「et al.」として下さい。

(例)

- 1) 久保田美穂, 柳沢茂, 佐々木隆一郎, 他: 結核化学予防の服薬状況に関する一考察 — 結核集問感染事例の調査結果から —. 日本公衛誌 50 : 605-612. 2003.
- 2) Sasaki R, Sakurai R, Aoki K, et al. : Cohort study on association of malignant neoplasms among the pulmonary tuberculosis patients in Nagoya TB Registry. J Epidemiol 2(Supple) : 89-95. 1992.
- 3) 佐々木隆一郎: スクリーニング. 疫学(日本疫学会). pp.151-162. 南江堂. 1996.

倫理規程

疫学研究に関する倫理指針(平成 14 年 6 月 17 日、文部科学省・厚生労働省)、人体を対象とする場合はヘルシンキ宣言に基づいた科学的および倫理的規範、動物を対象とする場合は動物愛護の精神に基づくこと、が必要です。研究によっては所属施設の倫理委員会またはこれに準じたものの承認が必要となります。

■(抄録)投稿テンプレート(word)は、本学会ホームページからダウンロードできます。

テンプレートを使うことで、規程に沿った抄録作成がしやすくなります。

信州公衆衛生学会ホームページ: <https://ssph.jp>

抄録作成例

長野県における健康格差に関する研究 —その 3：長野県内の健康格差に関する要因の検討—

佐々木隆一郎（長野県飯田保健所）、古川善行（長野県厚生連伊那厚生病院）

キーワード：標準化死亡率、健康寿命、健康診断、喫煙率、民間禁煙ボランティア団体

要旨：長野県は平成 12 年度の平均寿命が男 78.9 年（1 位）、女 85.2 年（3 位）と国内有数の長寿県である。そこで長野県の健康長寿に関する要因を検討する一環として、長野県医療圏毎の全死因の標準化死亡率と各市町村で行われている健康診断から得られた資料とを用いて検討を行った。

その結果、全死因の標準化死亡率と喫煙との関連が示唆された。また、長野県内の医療圏による喫煙率の差には、民間禁煙ボランティア団体の活動が寄与している可能性がうかがえた。

A. 目的

長野県内の健康格差を及ぼす要因について長野県内の 10 の二次医療圏別の特徴について検討し、長野県における健康寿命の要因を探る手がかりを得ることを目的とする。

B. 方法

1. 死亡状況の検討

長野県内の二次医療圏別の死亡状況の検討には、人口動態統計資料に示された平成 5-9 年度と平成 10-14 年度の標準化死亡率を用いた。

2. 健康要因の検討

平成 11 年度に長野県内の 120 市町村が行った健康診査（健診）の受診者について、平成 12 年度に長野県が調査を行った資料がまとめられている。この資料には 182,877 人についての結果が二次医療圏毎にまとめられている。この資料に含まれている情報は、健康診査時に得られた、性、年齢階級別の、高血圧、ヘモグロビン A_{1c}、総コレステロール、HDL コレステロール、肥満状況、喫煙、及び飲酒の状況等である。

3. 検討方法

今回の検討にあたっては、二次医療圏による受診者の年齢構成の差を調整する目的で、長野県全体の年齢別の率を基礎に、全県を 1 とした調整異常比を計算した。また、各二次医療圏と全県の値の統計学的優位性の検討には 95%信頼区間を用いた。

なお、今回検討に用いた資料は、公表された資

料であり、倫理面での問題はないと考える。

C. 結果

1. 医療圏別標準化死亡率の特徴

表 1 に医療別の全死因による標準化死亡率を示した。

表 1. 医療圏別全死因の標準化死亡率

医療圏	標準化死亡率 (対県比)		
		平成 5-9	平成 10-14
佐久 男	90.2 (1.02)	89.8 (1.00)	
	91.9 (0.98)	94.1 (0.99)	
上田 男	89.7 (1.01)	88.5 (0.98)	
	94.4 (1.00)	94.4 (1.00)	
諏訪 男	86.7 (0.98)	87.3 (0.97)	
	92.2 (0.98)	96.0 (1.01)	
伊那 男	88.1 (0.99)	89.3 (0.99)	
	93.7 (1.00)	96.0 (1.01)	
飯田 男	84.3 (0.95)	89.1 (0.99)	
	89.9 (0.96)	92.1 (0.97)	
木曾 男	95.7 (1.08)	98.2 (1.09)	
	90.2 (0.96)	90.8 (0.96)	
松本 男	88.0 (0.99)	91.0 (1.01)	
	96.6 (1.03)	95.2 (1.01)	
大町 男	96.3 (1.08)	93.8 (1.04)	
	99.2 (1.05)	96.1 (1.02)	
長野 男	88.2 (0.99)	88.6 (0.99)	
	95.4 (1.01)	93.9 (0.99)	
北信 男	95.7 (1.07)	97.0 (1.08)	
	94.5 (1.00)	98.3 (1.04)	

(資料：人口動態保健所・市町村別統計)

今回検討した標準化死亡率をみると、平成 5-9 年度と平成 10-14 年度の二つの機関ともに、二次医療圏別の全死因の標準化死亡率は、全て

信州公衆衛生雑誌投稿規程

1) **投稿資格** 本会会員に限る。共著の場合は全員が会員であることを必要とする。

2) **投稿原稿の種類** 以下の通りとする。

総説	研究・調査論文の総括および解説
論説	公衆衛生活動、政策、動向など
原著	独創的な研究論文及び科学的な観察
短報	独創的な研究の短報または手法の改良・提起に関する論文
公衆衛生活動報告	公衆衛生活動に関する実践報告
症例報告	公衆衛生上有用な症例報告
資料	公衆衛生上有用な資料
会員の声	掲載論文に対する意見、海外事情、関連学術集会の報告など

3) **論文の内容** 原著は他誌に未発表のもので、なるべく簡潔、平易な記述が望ましい。

4) **投稿原稿の執筆要領**

a) 原稿の形式は、表紙、抄録(800字以内、総説・論説には不要)、本文、文献、表、図の説明、図の順序とする。原稿には、著者の判断により200語以内の英文抄録をつけることができる。英文抄録の構成は和文抄録に準じ、専門家によるチェックを受けること。

b) 用紙は、A4判を用いる。マイクロソフト社のWordを用いて、横書き1行25字×32行=800字を1枚とする。原稿作成時、行番号を各ページの左側につける。

c) 表紙の記載順序は、投稿原稿の種類、和文題名、著者名、所属名、住所、欧文題名、著者名ローマ字、所属欧文名、住所欧文名、内容別索引作成に必要なKey words(5個以内とし、欧文名と日本語名とを記入する)、20字以内のランニング・タイトル、本文総枚数、図、表の枚数、別刷希望部数とする。編集部への希望事項は別紙に記入して添付する。

d) 本文の項目分けは、次のようにする。

I. …、A. …、1. …、a. …、(1) …。

e) 書体と用語は、明瞭な字体で、口語体、ひらがな文で書き、なるべく日本医学用語委員会制定の用語を用い、十分推敲した原稿とする。句読点、括弧を正確につけ、1字分としてあける。欧文で記載される原稿は欧文タイプで記入する。薬品名は一般名を使用する。動物、植物、細菌などの学名は2命名法によってイタリック体で記載する。一般に略語として意味が通じるもの以外は、略語の使用は極力避ける。止むを得ず略語を用いる場合には、最初に必ずフルスペルを記載すること。

f) 度量衡の単位は、原則としてCGS単位を用い、符号のあとには点をつけずに、次の例に準ずる。

(例) m mm μ m nm l ml μ l kg g mg μ g mg/dl ppm $^{\circ}$ C Bq Gy sec min hr

g) 図・表は、刷り上がり1頁以内におさまるようにする。原寸大で印刷できるように写真等を組み合わせでセットされたものが望ましい。文字や印は縮小、拡大を考慮してレタリング等で直接原図に入れる。挿入箇所は原稿の欄外に図1、表1のように記載する。図表の中の文字、説明は欧文でもよいが、長文の場合は欧文校閲の必要性が生ずるので和訳を付すこと。顕微鏡写真の場合にはその倍率の記載に注意すること。原寸大で準備されていない場合は縦横の対比に注意し縮小された場合にもよく判読しうるように作製されていること。

h) 引用文献は、引用した箇所の右肩に番号を付し引用順に記載する。引用雑誌の略称は、欧文雑誌については“INDEX MEDICUS”に、和文雑誌については、医学中央雑誌に従った略記とする。

雑誌は 著者名：表題. 誌名 巻：始頁-終頁. 発行年.

著書は 著者名：表題. 書名(編集者). 始頁-終頁. 発行所. 発行年.

の順に記載する。但し著者は最初の3名以内のみとし、それ以上のときは「他」または「et al.」とする。

(例)

- 1) 久保田美穂, 柳沢茂, 佐々木隆一郎, 他: 結核化学予防の服薬状況に関する一考察—結核集団感染事例の調査結果から—. 日本公衛誌 50:605-612. 2003.
- 2) Sasaki R, Sakurai R, Aoki K, et al.: Cohort study on association of malignant neoplasms among the pulmonary tuberculosis patients in Nagoya TB Registry. J Epidemiol 2 (Supple): 89-95. 1992.
- 3) 佐々木隆一郎: スクリーニング. 疫学(日本疫学会). pp.151-162. 南江堂. 1996.
- i) 倫理規程 疫学研究に関する倫理指針(平成14年6月17日、文部科学省・厚生労働省)、人体を対象とする場合はヘルシンキ宣言に基づいた科学的および倫理的規範、動物を対象とする場合は動物愛護の精神に基づく必要がある。研究によっては所属施設の倫理委員会またはこれに準じたものの承認が必要となる。
- j) 利益相反 本学会の医学研究の利益相反(Conflict of Interest: COI)に関する指針に基づき、本文の最後に下記の例にしたがい記載すること。
「本研究は〇〇の資金提供を受けた。」
「〇〇の検討にあたっては、〇〇から測定装置の提供を受けた。」
「利益相反なし。」
- 5) **原稿の採否** 投稿原稿の採否と掲載順序の指定は、編集委員会において決定する。論文は2名以上の編集委員(必要に応じて編集部が適当と認めた者を含める)によって査読され、論文内容の加除訂正を求められることがある。
- 6) **校正** 校正は初校のみ著者が責任をもって行う。校正に際して原文の変更あるいは追加を認めない。
- 7) **別刷** 投稿の際、原稿の表紙に必要部数を申し込む。費用は、依頼原稿を除いて全額投稿者負担とする。
- 8) **掲載料** すべて無料とする。
- 9) **原稿の送り先** 公式ホームページの雑誌投稿ページの投稿フォームから提出する。
投稿フォームから送信できない場合は、松本市旭3-1-1、(〒390-8621) 信州大学医学部 衛生学公衆衛生学教室内 信州公衆衛生学会事務局 s_kouei@shinshu-u.ac.jp にメールにて送付する。メールが使えない場合は持参または郵送とし、原稿にコピー2部を添付する。

令和3年6月5日改定

信州公衆衛生学雑誌掲載著作物に関する著作権規程

本誌に掲載された論文等の著作権、複製権および公衆送信権(送信可能化権を含む)に係わる権利等は、信州公衆衛生学会に帰属いたします。

■雑誌投稿テンプレート(word)は、本学会ホームページからダウンロードできます。

テンプレートを使うことで、規程に沿った原稿作成がしやすくなります。

信州公衆衛生学会ホームページ: <https://ssph.jp>

信州公衆衛生雑誌 論文投稿前のチェック表

この表にチェックを付け、原稿に添えて投稿して下さい(Word ファイルか PDF ファイルのどちらでも可)

	投稿規程	チェック内容
<input type="checkbox"/>	4)-a)	原稿の構成が、表紙、抄録、本文、文献、表、図の説明、図の順となっているか
<input type="checkbox"/>	4)-c)	表紙に、投稿原稿の種類、和文の題名、著者名、所属名、住所、欧文の題名、ローマ字の著者名、所属欧文名、住所欧文名、キーワード(日本語名と欧文名)、ランニングタイトル、本文総枚数、図表の枚数、別刷り希望部数を記載したか
<input type="checkbox"/>	4)-c)	キーワードは 5 個以内か、ランニングタイトルは 20 文字以内か
<input type="checkbox"/>	4)-a)	抄録は 800 字以内か
<input type="checkbox"/>	4)-b)	本文にページ、行番号を入れたか、行間は double space か
<input type="checkbox"/>	4)-d)	本文の項目分けは、投稿規程に沿っているか
<input type="checkbox"/>	4)-h)	文献の引用の仕方は正しいか(投稿規程に沿っているか)
<input type="checkbox"/>	4)-g)	図表の構成(大きさ、文字の解像度、挿入箇所の明示等)は投稿規程に沿っているか
<input type="checkbox"/>	4)-i)	ヒトを対象とした研究の場合、本文中に研究倫理審査を受けた事を記載したか 研究倫理審査を必要としない場合は、以下にその理由を付すこと ()
<input type="checkbox"/>		研究遂行や論文作成に関わる全ての助成、経済的支援等について謝辞に記載したか
<input type="checkbox"/>	4)-j)	本文の最後に利益相反の有無について明示したか
<input type="checkbox"/>		信州公衆衛生雑誌に記載された論文等の著作権、複製権および公衆送信権に係る権利等は、信州公衆衛生学会に帰属する事について同意したか
<input type="checkbox"/>	9)	コピーを 2 部添付したか(郵送の場合)

■「チェック表」(word)が、本学会のホームページからダウンロードできます。

信州公衆衛生学会ホームページ：<https://ssph.jp>